

工事記録写真撮影要領

平成 2 8 年 2 月

東京二十三区清掃一部事務組合

目 次

第1章 総則

1	目的	1
2	写真等の種別	1
3	撮影計画	2
4	その他	2

第2章 写真撮影の方法

1	撮影箇所	3
2	撮影時期	3
3	撮影方法	3
4	撮影に使用する機器類	4

第3章 写真の整理と保存

1	写真の確認	5
2	写真の色彩及び大きさ	5
3	デジタル写真の編集等	5
4	工事記録写真帳等	5
5	写真の整理	6
6	工事記録写真帳等の提出部数及び形式	6

写真撮影に関する留意事項

工種別撮影区分一覧表<参考>

1	共通事項	10
2	建築	11
3	電気設備	20
4	機械設備	23
5	焼却炉プラント補修	27
6	港湾工事	28
7	測量委託及び地質調査委託	29

第 1 章 総 則

1 目 的

この基準は、監督基準(平成12年4月1日付け副管理者決定)に基づき工事記録写真の撮影方法及び整理について必要な事項を定め、請負者が工事の経過を適切に記録することを目的とする。

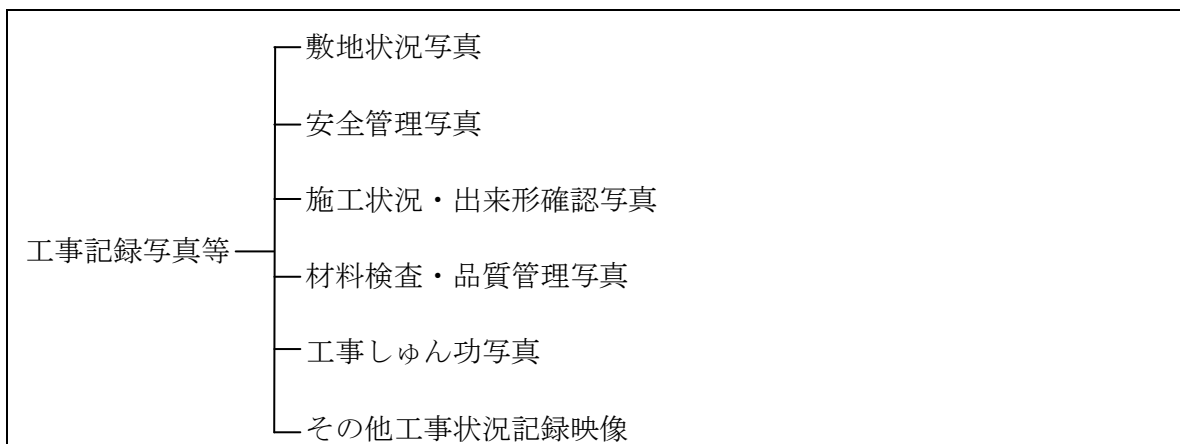
【解 説】

工事記録写真は、施工が適正に行われていることを明らかにする手段の一つであり、各施工段階における施工状況等の記録と、工事完了後では明視できない部分の記録とを、その主な目的としている。

具体的な使用目的としては、各種工程の確認、使用材料の確認、品質管理の確認のほか、工事検査における記録資料、さらに、工事上の問題が発生した時の判断材料や維持保全の資料などがあげられる。

工事記録写真は、これらの目的を達成するために、工事の各段階において適切に撮影し、工事の記録として十分活用できるものとしなければならない。

2 写真等の種別



【解 説】

※敷地状況写真

敷地状況写真は、工事の着手前及び完成時に工事敷地の内外の状況、また近隣及び工事用搬入予定路の状況、敷地境界の立会い確認等を撮影する。また、撮影に際しては、撮影年月日を明確にし、必要な場合は立会者を入れて撮影する。

なお、家屋調査関係の写真が必要な場合は、別途処理する。

※安全管理写真

安全管理写真は、各種標識類・保安施設の設置状況、交通誘導員の整理状況及び安全訓練の実施状況を撮影する。

※施工状況写真・出来形確認写真

施工状況写真は、工事の進捗に応じた施工内容の確認のため、工程ごとで継続的に、かつ時期を失ないように撮影する。

出来形確認写真は、施工後確認できなくなる部分（不可視部分）の出来形を撮影する。したがって、重要な撮影箇所、寸法表示方法、撮影時点、撮影位置等をあらかじめ検討する。

※材料検査・品質管理写真

材料検査写真及び品質管理写真は、材料検査時に併せて撮影する。

工事に使用される主要材料について、施工後において形状寸法、品質、使用量等を確認できるように、試料の採取、試験の状況等を撮影する。この場合、背景に現場の一部、立会者を入れて撮影する。

品質管理写真は、施工精度等が目標値と比較してどの程度であったか、後日確認できるように撮影し、以後の品質管理の資料とする。

※工事しゅん功写真

工事しゅん功写真は、工事記録写真の一部となっているが、工事完了時に限定した建物の記録ということで、本来の工事記録写真とはその使用目的が異なる。また、工事しゅん功写真は、その性格上、第三者の撮影者に依頼して撮影することが多い。このため、提出された写真については、工事完了後の引継図書等として利用するだけでなく、報告書・広報等への掲載を目的として複製等を行うことがある旨を、事前に請負者を通じて撮影者に周知させ、写真の使用に関する諸問題の発生を未然に防止する措置が必要である。

工事しゅん功写真の作成の有無、撮影内容、撮影枚数、提出部数等については工事ごとに特記仕様書で定める。

※その他工事状況記録映像

工事の施工状況や品質管理の状況等を撮影した映像を着工からしゅん功までの流れに沿って編集した電子媒体(CD-Rを原則とする。)を成果品として提出させる。記録映像の撮影の有無、撮影内容、編集後の時間数等については工事ごとに特記仕様書で定める。

3 撮影計画

請負者は、工事記録写真の撮影に先立ち、工事記録写真撮影計画書を添付した「承諾申請書」(請負者等提出書類処理基準実施細目(甲)第25号様式)を監督員に提出し、承諾を受ける。

ただし、軽易な工事については、監督員の承諾を受けて提出を省略することができる。

【解説】

請負者は、工事記録写真撮影計画書に、実施工程表に基づき次の各要素を明らかにする。

(1) 工種ごとの「撮影箇所・撮影内容・撮影枚数」

工種別撮影区分一覧表<参考>に示す工種、区分、撮影箇所等により、「どこ」、「何を」、「どの程度」撮影するか方針を決める。

(2) 工事全体の「工事記録写真撮影・整理担当者」

工事を通じて、撮影から写真整理まで、「誰が」責任を持って行うか、その担当者を決める。

4 その他

この基準により難しい場合は、別に定める。

【解説】

軽易な工事、改修・解体工事等でこの基準によりがたい場合でも、準用できる部分は適用し、基準の趣旨をくみとり、適切な処理方法を検討する。

第2章 写真撮影の方法

1 撮影箇所

工事記録写真の撮影箇所は、第1章2に示す写真等の種別ごとに必要な箇所を撮影する。

【解説】

撮影の目的は、施工状態及び寸法の確認等、それぞれねらいがあり、そのねらいとするものを明瞭に確認できるように撮影する。

部分を撮影する場合は、全体の中での当該部分の位置が確認できないので、別途背景に遠景を写し込んだ写真を撮影し、位置の確認ができるようにする。

目的に応じ、立会者、検査担当者等を入れて撮影する。

2 撮影時期

撮影に当たっては、常に工事進捗状況を把握し、工事関係者と打合せを行い撮影時期を失しないようにする。

【解説】

撮影担当者は、あらかじめ現場関係者に対して撮影計画を周知させ、撮影時期に撮り忘れの無いように注意する。

3 撮影方法

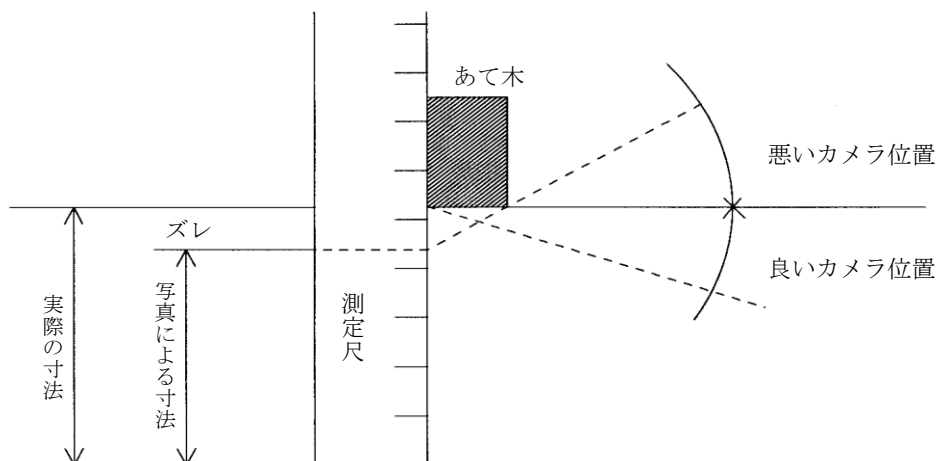
撮影は、対象の形状、寸法、位置等が判別できるように黒板及び測定器具を添えて行い、一定方向から被写体に平行又は直角に撮影することを原則とする。

【解説】

※撮影時の一般的留意事項

- (1) 寸法の確認等で測定尺を使用する場合は、目盛線が正確に読み取れるように撮影を行う。
(図参照)

基礎工事等で、地形上どうしても水平に撮ることが困難な場合は、あて木を薄くしたり、糸を張るなどの工夫をして撮影する。



- (2) 外構工事等の写真を撮影する場合は、測点周囲の地形、測点、杭、工作物等を背景に入れるなど、写真のなかでそれぞれの位置関係がはっきりするように工夫する。
- (3) ハレーションを防止するため、反射光を受けない角度で撮影する。また、暗い部分の撮影は、ストロボや照明を使用し、明瞭に撮影する。

4 撮影に使用する機器類

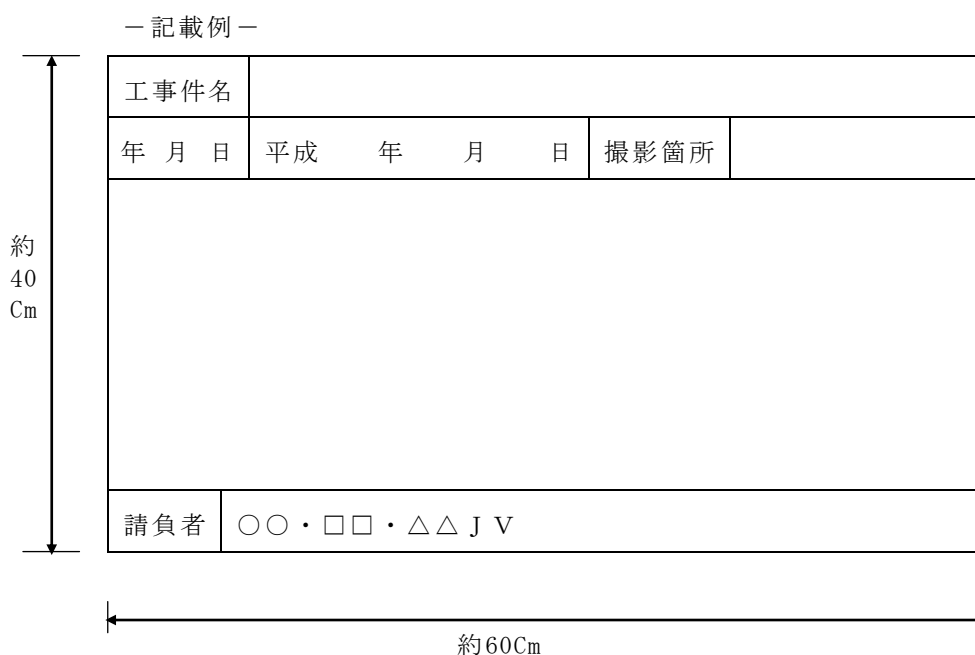
<p>(1) 撮影器具等 デジタルカメラ、35ミリフィルムカメラ又はAPSのほか、必要に応じ補助用具(三脚、インスタントカメラ等)を使用する。</p> <p>(2) 黒板等 撮影に使用する黒板(白板等を含む。)は、工事件名、請負者名、撮影年月日、撮影箇所、仕様、形状、寸法、立会者名等が記入できるものとする。</p> <p>(3) 測定器具 測定器具は、施工出来形寸法等を確認できる、箱尺、スチールテープ、リボンテープ(リボンロット)等を使用する。</p>
--

【解説】

デジタルカメラにより工事記録写真の撮影・整理等を行う場合は、必要な文字、数値等の内容の判読ができる機能、精度を確保できるものとし、仕様は次に示すものとする。

- ① 総画素数 80万画素以上
- ② 記録画素数 640×480以上
- ③ ファイル形式 J P E G
- ④ 圧縮率 非圧縮から 1/10 程度

※黒板等



第3章 写真の整理と保存

1 写真の確認

撮影済みのフィルムは、速やかに現像し、必要に応じ提出できるように点検し整理する。

デジタルカメラを使用した場合は、速やかに撮影内容の確認を行い、データを整理する。

※撮影した写真は速やかに現像する等して、撮影目的に合致しているか確認する。

2 写真の色彩及び大きさ

(1) 写真はカラーを原則とし、デジタルカメラのデータのプリントはフルカラープリンター300dpi以上、インク・用紙は通常の使用条件のもとで、3年程度顕著な劣化が生じないものとする。

(2) 写真の大きさは、サービス版とする。ただし、着手前及び完成写真等は、キャビネ（2L）版又はパノラマ版（つなぎ写真可）とすることができる。

(3) 前号の規定にかかわらず、監督員が指示するものは、その指示した大きさとする。

※工事しゅん功写真は、大きさ等について特記仕様書で指示する。

【解説】

デジタルカメラを使用した場合は、A4サイズの内紙にサービス版程度を標準に、数枚の写真を実際プリントすることができる。

デジタルカメラのデータのプリントは、極力、高画質を確保できるものを用いるものとし、特に用紙については、カラー印刷専用紙又は同等以上の使用が望ましい。

3 デジタル写真の編集等

デジタルカメラを使用した場合、原則として写真データの加工は認めない。

ただし、監督員の承諾を得たときは、全体の明るさ、コントラストの補正は認める。

補正した場合、そのことがわかるファイル名を付け、操作状況を説明したテキストファイル及び元の写真データを監督員に提出する。

4 工事記録写真帳等

工事記録写真帳は、原則として4切版のフリーアルバム又はA4版とする。

工事記録写真帳以外を使用する場合は、アルバム等の表紙に、工事件名、工事場所、工期、請負者名等を記入し、背表紙には、工事件名、年度を記入する。

5 写真の整理

工事記録写真の整理方法は次に掲げるとおりとする。

- (1) 工事記録写真は、工事着手からしゅん功までの経過が把握できるよう一括して順序よく整理する。
- (2) 撮影箇所が写真だけでは特定できない場合は、写真とともに見取り図、説明図等を工事記録写真帳等に添付する。

【解説】

- (1) アルバムにキープランなどを添付して撮影箇所を明示し、必要に応じ説明書を添付して、施工順序に従い系統だてて整理する。キープラン等は、施工経過が分かるように色塗りし、仕様、寸法等も記入する。
- (2) 写真は、多ければよいというものではなく、目的にあったものを選び、整理する。
- (3) デジタルカメラで撮影した場合のデータは、別表に示すフォルダ構成例を参考に、画像ファイルを整理する。

6 工事記録写真帳等の提出部数及び形式

工事記録写真帳等の提出部数は1部とする。

デジタルカメラを使用した場合は、工事記録写真帳等のほかにデータを記録した電子記録媒体（CD-Rを原則とする。）を提出する。

【解説】

- (1) 請負者は、工事完了後、工事記録写真帳等を整理し、監督員に提出する。
- (2) 電子媒体の提出について、CD-R以外の場合については、監督員の承諾を得るものとする。
- (3) ネガの取扱いについては、原則として工事完了後は保存しないこととする。

別表 フォルダの構成例

ルート (工事件名)	サブー1 (建物名称)	サブー2 (工 種)*	サブー3 (区 分)*	サブー4 (撮影箇所及び内容)*	サブー5 (撮影枚数、備考欄等参照) *
<ul style="list-style-type: none"> ☞ 建築 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ ○ ○ 棟 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 共通事項 ☞ 仮設工事 ☞ 土工事 ☞ 鉄筋コンクリート 工事 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 施工の進捗 状況 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 着手前 ☞ しゅん功 ☞ 仮設物等 ☞ 残土処分 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 処分状況 ☞ 鉄筋の組立 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 境界石 <ul style="list-style-type: none"> ☞ ホ イント-1 ☞ ホ イント-2 ☞ バンチマーク <ul style="list-style-type: none"> ☞ X 方向遠景 ☞ X 方向近景 ☞ Y 方向遠景 ☞ Y 方向近景 ☞ 仮囲い等 ☞ 柱 ☞ 梁 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 柱記号 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 遠景 ☞ 近景 ☞ 細部 ☞ 梁記号 <ul style="list-style-type: none"> ☞ 遠景 ☞ 近景 ☞ 細部 ※大規模で枚数が多い場合 ☞ △階 <ul style="list-style-type: none"> ☞ No. 1 ☞ No. 2
<ul style="list-style-type: none"> ☞ 電気設備 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ ○○棟 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 配管工事 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 埋込・いん ぺい配管 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ コンクリート埋込 部及び天井裏 のいんぺい配 管の施工状況 <ul style="list-style-type: none"> ☞ △階 No. 1 ☞ △階 No. 2 	
<ul style="list-style-type: none"> ☞ 機械設備 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ ○○棟 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 保温・塗装 及び防錆工事 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ 使用状況 	<ul style="list-style-type: none"> ☞ A材料 <ul style="list-style-type: none"> ☞ a 規格全体 ☞ a 規格細部 ☞ b 規格全体 ☞ b 規格細部 	

注1 フォルダの構成は工種別撮影区分一覧表を参考にする。

注2 本表は参考例であるので、実際のフォルダの構成は工事の規模等により、撮影枚数を勘案して、適宜変更する。

注3 画像ファイルのみでは施工内容が不明確な場合は、説明文や説明図などをテキストファイル又はビットマップファイルなどに編集する。説明すべき画像データを納めているフォルダに画像ファイルと同一名称（拡張子だけが異なる）ファイルとして保存する。

写真撮影に関する留意事項

【一般事項】

継続的に、かつ時期を失ないように撮影する。

ねらいとするものを明瞭に確認できるように撮影する。

【撮影方法】

撮影日等を明確にする。（黒板等の利用）

立会者や検査担当者等を写真の中に写し込む。

施工後確認できなくなる部分を撮影する。

一部分を撮影する場合は、その部分を取り込んだ遠景写真も撮影する。

外構等の撮影では、測点周囲の地形、測点、杭、工作物等を背景に入れる。

【撮影技術】

被写体と平行又は直角に撮影する。

反射光を受けない角度で撮影する。

必要に応じ、ストロボや照明を使用し、明瞭に撮影する。

工種別撮影区分一覧表

<参 考>

以下に各工事における工種毎の標準的な撮影箇所・内容及び撮影枚数を示す。

それぞれの工事の撮影計画書を作成する場合は、これを参考とし、規模、現場の特殊性等を考慮し、撮影箇所・頻度等を決める。

1 共通事項

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
共 通 事 項	施工の進捗状況	建物・外構等を同一位置・方向から撮影する。	着手前、着手後からしゅん功まで月1回程度	必要に応じ高所から見下ろす形で撮影を行う。
	敷地状況	工事敷地内外の状況 工事搬入路の状況 敷地境界、近隣建物	必要箇所数	家屋調査写真は別途処理する。
	障害物	埋設物等の障害物の処理状況とその寸法、位置	適宜	
	発生材	発生材の状況	適宜	
	災害及び事故	工事中災害及び事故が発生した場合の現況及び復旧状況	適宜	撮影した写真を印刷し、速やかに報告する。
	試験	工場、試験場等における試験状況	適宜	監督員の立会いを必要とする場合
	数量確認	使用数量の確認が必要な材料等	材料ごとに1枚	構造材料以外で、施工後特に数量確認が困難な材料に限る。 規格、製造業者名、商標等を入れて撮影する。
	建設機械	排出ガス対策型建設機械	機械ごとに1枚以上	排出ガス対策型であること又は排出ガス浄化装置を装着していることがわかるように撮影する。
	建設廃棄物	建設廃棄物の積み込み、再資源化施設等への搬入、最終処分場への搬入(直接最終処分する場合)状況	適宜	建設廃棄物発生場及び処分場における積載状況がわかるように撮影する。
		再資源化施設、中間処理施設	施設ごとに1枚	施設名称等の看板を入れる。
		最終処分場(直接最終処分する場合)	施設ごとに1枚	施設名称等の看板を入れる。
	安全管理	各種標識類の設置状況	種類ごとに1回	設置位置、付近の状況がわかるように撮影する。
		各種保安施設の設置状況	種類ごとに1回	
		交通誘導員等の整理状況	適宜	
安全訓練等の実施状況		実施ごとに1回		

2 建 築 (3,000㎡程度の庁舎を想定)

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考
			総	遠	近	細	
仮設工事	仮設物等	1 境界石	1		1		ポイントごと
		2 ベンチマーク	4	2	2		2方向
		3 仮囲い等の保安施設及び特殊仮設	4	2	2		特殊仮設は適宜
		4 地縄張り及びやりかた	2	2			2方向
土工事及び地業工事	根切及び床付け	1 根切状況	1	1			深さが異なるごと
		2 根切深さ	1		1		〃
		3 床付け状態	1		1		〃
	山止め	1 矢板、腹起し、切梁等	4	2	2		切梁一段ごと2方向
		2 特殊工法（柱列工法連続壁工法等）の場合は掘削機械、挿入鉄筋、スペーサー等	適				水替等は適宜
	残土処分	処分状況（仮置場等が指定されている場合）	1	1			
基礎地業	石張りの厚さ	部位別に1枚					
		<p>(割石張り厚さの撮り方)</p> <p>(注) 1. 測定尺等を使用し高さをはかること。 2. 基礎は目潰し材を入れた転圧後の写真とする。</p>					
埋戻し・盛土	施工状況	適				施工前、締め固め状況	

(注) 総：総撮影枚数，遠：遠景，近：近景，細：細部，適：適宜を、数字は撮影枚数を示す。

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考
			総	遠	近	細	
く い 工 事	材料	規格表示及び製作所の確認	2	1	1		くいの径及び種類の異なるごと
	試験ぐい	1 打込み状況	1	1			試験ぐいごと
		2 継手	1		1		継手ごとに施工後撮影
	載荷試験	実施状況	4	1	2	1	
	既製コンクリートぐい及び鋼ぐい	1 建込み管理状況	1	1			
		2 貫入量測定状況	2		1	1	径の異なるごと
		3 継手作業状況	2		1	1	径の異なるごと
		4 継手部検査状況 (超音波探傷試験等)	2		1	1	径の異なるごと
		5 くい頭処理	3	2		1	処理中、処理後 細部の写真は径の異なるごと
		6 芯ずれの測定状況	2		2		2方向
			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>(くい継手の撮り方)</p> </div> <p>(注) くい番号はチョーク、マジック等でくい本体に明瞭に表示すること。</p>				
	埋込みぐい (セメントミルク注入工法)	1 掘削状況	1	1			建込み管理状況を含む。
		2 支持地盤の確認状況	1		1		電流計、計測等
		3 継手作業状況	2		1	1	径の異なるごと
		4 継手部検査状況 (超音波探傷試験等)	2		1	1	径の異なるごと
		5 くい頭処理	3	2		1	処理中、処理後 細部の写真は径の異なるごと に処理後を撮影する。
		6 芯ずれの測定状況	2		2		2方向

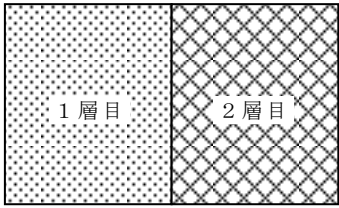
工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考
			総	遠	近	細	
く い 工 事	場所打ちコンクリートぐい	1 掘削状況	2	1	1		くい心セット状況を含む。
		2 挿入鉄筋の組立状況 鉄筋建込み	4	2	1	1	フープ、ピッチ、継手長さ 細部の写真は径の異なるごと
		3 検尺・コンクリート打設	2		2		近景は径の異なるごと
		4 くい頭処理	3	2	1		処理中、処理後 近景の写真は径の異なるごと に処理後を撮影する。
		5 芯ずれの測定状況	2	1		1	
鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 工 事	鉄筋の組立 【共通注意事項】 ・配筋の本数 ・間 隔 ・部材の厚さ ・かぶり ・継手 ※遠景及び細部は 必要に応じ適宜 撮影。	1 基礎（独立）		※	2	※	間隔、ダイヤ筋
		2 基礎（布）		※	2	※	2方向 側面、内部
		3 基礎（ベタ）		※	2	※	形状の異なるごと、2方向
		4 地中梁（主筋端部・ 継手、スタラップ筋 間隔）		※	2	※	形状・配筋の異なるごと
		5 柱（主筋下部及び柱 頭部の処理、継手、 フープ筋の間隔）		※	2	※	形状・配筋の異なるごと
		6 大梁（主筋端部・継 手、スタラップ筋間 隔）		※	2	※	形状・配筋の異なるごと
		7 小梁（主筋端部・継 手、スタラップ筋間 隔）		※	2	※	主筋、スタラップ各々の端 部、中央部
		8 スラブ （間隔・厚さ）		※	2	※	各階 2方向
		9 片持ちスラブ （間隔・厚さ）		※	2	※	
		10 階段（間隔・端部）		※	3	※	段部、踊場、手摺
		11 壁		※	2	※	
		12 耐震壁（厚さ）		※	2	※	各階、厚さ 150 以上ダブル 配筋
		13 開口補強		※	1	※	補強方法が異なるごと
		14 スラブ配筋完了後	2	2			2方向
		15 型枠の組立状況	4	2	2		コンクリート打設ごと
		16 材料	3	1	1	1	規格、径ごと

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考
			総	遠	近	細	
鉄筋 コンクリート 工事	鉄筋の組立	17 圧接状況	4	2	2		遠景柱・梁 近景抜取箇所
	コンクリート打設	1 試験状況	2 2		1 1	1 1	スランプ、空気量測定状況 テストピース採取状況
		2 打設状況	1	1			各階
		3 打設面の仕上げ状況	2	1	1		
		4 養生	1	1			
鉄 骨 工 事	材料（工場）	1 積置状況	1	1			
		2 製造会社名、JIS 表示	1			1	
	鉄骨加工（工場）	1 原寸検定状況	3	1	2		近景 テープ合わせ
		2 溶接部の検定状況 （開先形状、仮付け 非破壊検査）	適				
		3 製品検査状況	2	1	1		
	建方	1 建方状況	1	1			各節工程の半ば
		2 建て入れ検査状況	2	1	1		
	高力ボルトの締付	締め付け状況	2		2		各 1 次締め、本締め
	アンカーボルト埋込み	固定状況	2		1	1	
	柱底均し仕上げ	仕上げ状況	2	1	1		
	耐火被覆	1 施工状況	2	1	1		
		2 厚さ	2			2	柱、梁
	ブ ロ ッ ク ・ A L C ・ P C 工 事	（ブロック） 材料	JIS 表示	1		1	
施工		配筋、積上げ状況	2	1	1		
（ALCパネル） 材料		厚さ、使用部位	3	1	1	1	床・壁等 種別ごと
施工		パネル取付け状況	4	1	3		ファスナー部、開口部、 コーナー
（PCパネル） パネル製作（工場）		1 鉄筋組立	1		1		コンクリート打設直前
		2 製品検査状況	2	1	1		
施工	パネル取付け状況	5	1	4		ファスナー部、コーナー	

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考
			総	遠	近	細	
防 水 工 事	材料	製造会社名、規格表示	1		1		材料ごと
	防水下地	清掃状況	1	1			
	防水層の施工 (アスファルト防水)	プライマー塗、張付け 状況	適				重ね代、ドレン廻り、出隅 入隅、張り仕舞
	防水層押さえ	1 ポリエチレンフィルム敷き	1	1			
		2 伸縮目地	3	1		2	部分設置高さ (水上・下)
	シーリング	材料・施工状況	2		1	1	プライマー、バックアップ 材、シーリング材等
アスファルト防水以外の 防水層の施工	アスファルト防水に準ずる。	適					
石・ タ イル 工 事	はく落防止措置	1 張付け状況	3	1	1	1	
		2 つなぎ金物	3		2	1	
金 属 工 事	軽量鉄骨天井下地	取付け状況	3	1		2	
	軽量鉄骨壁下地	取付け状況	3	1		2	開口部付近、スタッド見込 み他
	手摺り等	固定状況	1			1	
建具 工事	防火区画	隠ぺい部の状況	3	1	1	1	
仕 上 げ 工 事	材料	認定表示等	1			1	該当材料ごと
	施工	1 下地の状態 2 金物取付け時の埋込 み又は溶接状況 3 建具の取付け状況 4 サッシ廻りモルタル づめ 5 塗装の層別記録	適宜 適宜 適宜 適宜 適宜				

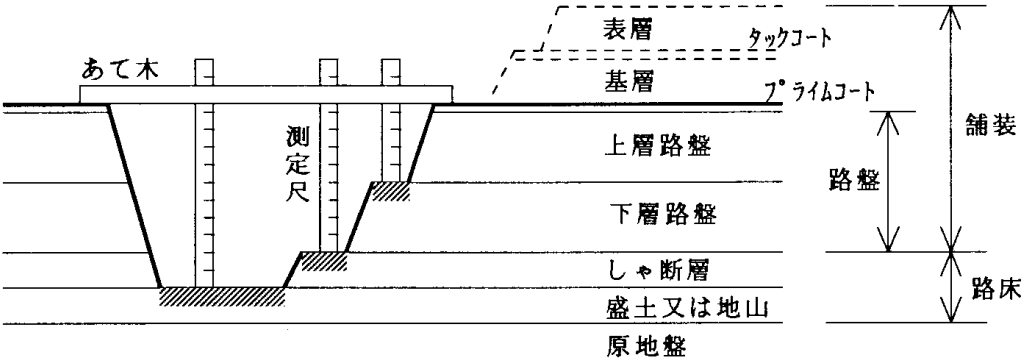
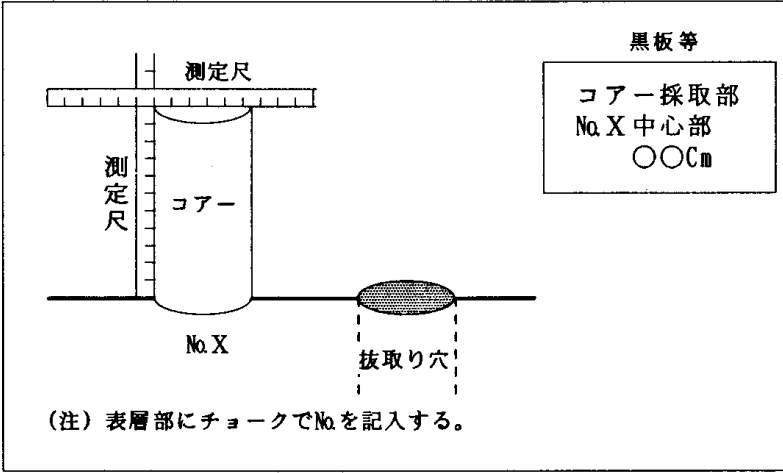
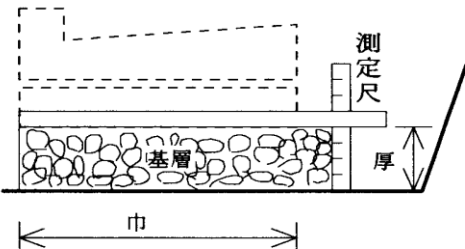
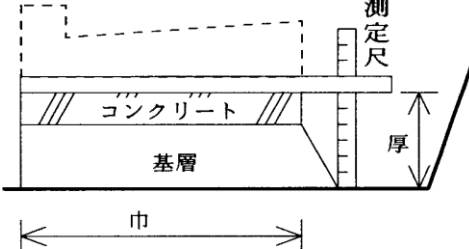
(塗装施工中の撮り方)

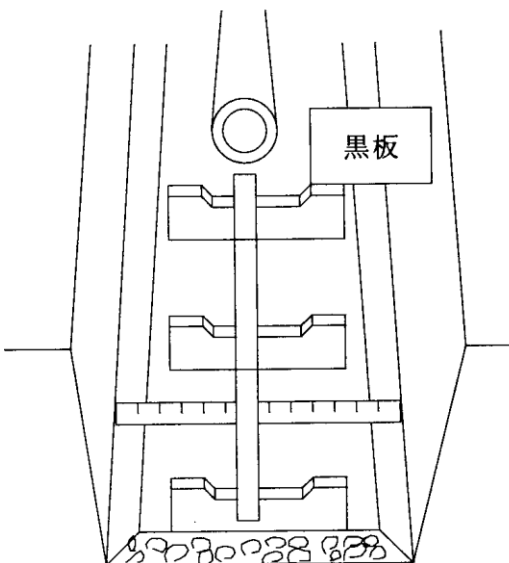
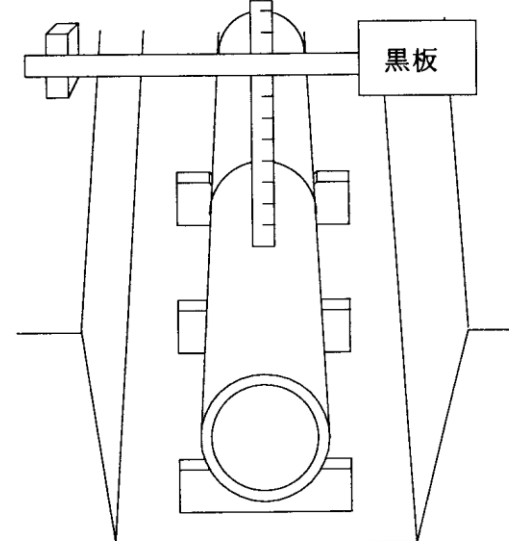
黑板等

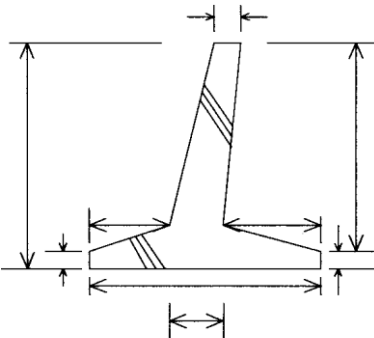


(注) 各層ごとにカラー写真とする。

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考
			総	遠	近	細	
外 構 整 備 工 事	(舗装) アスファルトコン クリート舗装	1 路床の状況	1	1			千㎡ごと 転圧状態
		2 路盤の確認	2	1	1		同 上 試掘測定
		3 プライムコート	1	1			同 上 散布後
		4 タックコート	1	1			同 上
		5 表層の確認	2	1	1		同 上 転圧施工中
		6 基層の確認	2	1	1		同 上
		7 コア採取状況	2		1	1	1,000㎡につき1組 (3箇所)
	コンクリート舗装	1 路床の状況	1	1			千㎡ごと 転圧状態
		2 路盤の確認	2	1	1		同 上 試掘測定
		3 路盤紙敷設状況	2	1	1		同 上 貼付施工中 近景は重ね代
		4 タックコート	1	1			
		5 配筋状況	1		1		
		6 表層の確認	2	1	1		コンクリート打込みの状況 近景はコンクリート厚
	歩道舗装	1 路盤の確認	2	1	1		締め固め作業状態
		2 プライムコート及び タックコート	1	1			散布後
		3 表層の確認	2	1	1		施工状況、厚さ確認等

工種	区分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備考
外 構 整 備 工 事				
	<p>1 試掘測定は路盤転圧完了後に行う。 2 図中網掛け部分で転圧状態を確認出来るようにする。</p> <p>(コア採取状況の撮り方)</p> 			
	縁石・側こう等	<p>1 基層 2 コンクリート基層</p>	<p>60mにつき1枚 巾、厚 60mにつき1枚 巾、厚</p>	
	<p>【基層】</p> 	<p>【コンクリート基層】</p> 		

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考
			総	遠	近	細	
外 構 整 備 工 事	排水工事 (透水管敷設工事は除く)	1 根切、横木	1		1		60mごと 横木ピッチ
		2 管据付け状態	1		1		60mごと 管天端高さ
		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【横 木】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【管天端高さ】</p>  </div> </div>					
	マス、その他外構付帯構造物	集水マス、支柱用埋筒、礎石、角石、砂場、防球柵、支柱基礎、その他外構付帯構造物類		適 宜			深さ、基礎の状態等
	植栽工事	1 高木類			1		種類ごと 植穴形状及び計測状態、根巻き計測状態
		2 中木類			1		種類又は植群ごと 植込み施工状態
		3 株物、芝類			1		植込み貼付け施工状態
		4 客土			1		植群ごと 施工状態
		5 土質改良			1		植群ごと 材料及び施工状態
		6 施肥			1		植群ごと 材料及び施工状態

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数				備 考
			総	遠	近	細	
外 構 整 備 工 事	擁壁工事 (高さ 1.2m 以下)	1 裏込材料 厚さ	2	1	1		40m毎
		2 基礎地業 巾、厚さ	2	1	1		擁壁断面の異なるごと
		3 型枠の組立て状況	1	1			コンクリート打設ごと
		4 配筋（底盤部）間隔	2	1	1		擁壁断面の異なるごと
		5 配筋（壁部）・水抜	1		1		擁壁断面の異なるごと 間隔・継手
		6 テストピース採取、 スランプ・空気量測定 状況等		適 宜			
		7 躯体寸法の確認	1		1		擁壁断面の異なるごと
		8 間知ブロック	1			1	規格表示等
		【寸法確認】					
		<ol style="list-style-type: none"> 1. 擁壁端部より撮影する。 2. 断面が大きく、1枚の写真では寸法確認ができない場合は、部分と遠景の組写真にする。 					

3 電気設備 (3,000㎡程度の庁舎を想定)

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
仮設工事	仮設工事全体	1 切廻し配管・配線等の工事 2 機器の取付け状況 3 リース機器の据付け状況 4 その他	該当箇所ごとに 各室ごとに1枚 機器ごとに1枚	仮設工事の施工状況を後日確認できるようにする。
配管工事	埋込・いんぺい配管	1 コンクリート埋込部分及び天井裏のいんぺい配管の状況 2 配管及び位置ボックスのボンディング状況 3 インサート等の配管支持材の固定状況 4 プルボックス及び位置ボックス内の電線接続状況	各階 500㎡ごとに1枚 各階 500㎡ごとに1枚 各階 500㎡ごとに1枚 各階 500㎡ごとに1枚	
	特殊場所の配管	1 ガス、蒸気、粉じん危険場所の防爆処理状況 2 湿気が多い場所の防湿、防滴処理状況 3 塩害等のある場所の防食処理状況	該当箇所10箇所当たり1枚 該当箇所10箇所当たり1枚 該当箇所10箇所当たり1枚	見え隠れする箇所を選んで撮影する。
貫通工事	電線・配管等の防火区画貫通部	防火区画を貫通する金属管、金属ダクト、バスダクト及びケーブルラックの耐火処理状況	該当箇所ごとに1枚	容易に確認できない箇所とする。
器具取付工事	照明器具その他の器具の支持	1 躯体からの支持取付け状況 2 埋込支持取付けの状況	各階 500㎡ごとに1枚 各階 500㎡ごとに1枚	
接地工事	第一種、第二種及び特別第三種接地	1 接地極の形状寸法及びその埋設状況 2 接地極と導線との接続状況	該当箇所ごとに1枚 該当箇所ごとに1枚	

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
土 工 事 ・ 建 柱 工 事	根切及び床付け	1 根切状況 2 根切深さ 3 床付け状態	30m ごとに1枚 30m ごとに1枚 30m ごとに1枚	
	山止め	1 矢板状況 2 掘削工法	30m ごとに1枚 工法ごとに1枚	機械掘、人掘
	残土処分	処分状況	適宜	
	埋戻し・盛土	施工状況	適宜	
	建柱工事	1 電柱、支線、支柱の根入れ或いは根かせの取付け状況 2 灯柱等の基礎施工状況	該当箇所ごとに1枚 該当箇所ごとに1枚	
	地中電線路	1 管等の寸法及び敷設状況 2 ハンドホール、マンホールの寸法及び施工状況 3 ケーブルの埋設位置確認材の埋設状況	区間 30mごとに1枚 該当箇所ごとに1枚 区間 30mごとに1枚	既製品を使用する場合は除く。
屋上施設	避雷針突針部 空中線	1 避雷針突針部の取付け状況及び避雷導体と建物構造体との接続状況 2 空中線、支持管及びこれなどと建物との取付け状況	一箇所につき1枚 一箇所につき1枚	

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
受変電・自家発電設備工事	受変電・自家発電・蓄電池設備工事	1 機器据付けのためのアンカーボルトの施工状況 2 防水層貫通箇所の処理状況	一機種ごとに1枚 該当箇所ごとに1枚	
	基礎工事	1 受変電、自家発電等の機器基礎の施工状況、地業・配筋・コンクリート等の施工状況	箇所ごとに3枚	
試 験	試験実施状況	1 絶縁抵抗測定、接地抵抗測定、継電器試験、絶縁耐力試験及び動作試験実施状況 2 工場、試験場等における試験の状況 3 テレビジョン受信点における受像画面の状況 4 テレビジョン受信端末における受像画面の状況	測定又は試験の都度1枚 該当機種及び試験項目ごとに1枚 受信チャンネルごとに1枚 受信チャンネルごとに1枚	

4 機械設備 (3,000 m²程度の庁舎を想定)

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
仮 設 工 事	仮設物等	特別仮設	着手前から撤去まで 工程ごと	
土 工 事 及 び 地 業 工 事	根切及び床付け	建築の表による。	建築の表による。	建築の表による。
	山止め	〃	〃	〃
	残土処分	〃	〃	〃
	基礎地業	〃	〃	〃
	埋戻し、盛土	〃	〃	〃
鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 工 事	鉄筋の組立	建築の表による。	建築の表による。	建築の表による。
	コンクリート打設	〃	〃	〃
鋼 材 工 事	材料	使用状況	全体 1枚 細部 1枚	材料ごと 規格ごと
	溶接加工	開先形状、仮付け等の 状況	適宜	
配 管 工 事	材料	使用状況	全体 1枚 材料ごと 細部 1枚 規格ごと	隠ぺい部又は保温塗装 前、材料ごと、規格ごと
	管の接合	1 各種接合の施工状況 2 異種管の接合及び伸 縮管継手等	各種接合方法ごとで 工程ごとに2枚 施工箇所ごとに1枚	代表箇所 保温により隠ぺいされ る部分
	吊り及び支持	吊り状況、耐震支持状 況等	各階ごと、500 m ² ご とに4枚	
	埋設配管	1 根切、埋戻し状況及 び床付け 2 給水管と排水管の交 差 3 埋設表示テープの状 況 4 埋設深さ 5 防食処理の状況	10m以内ごとに1枚 施工箇所ごとに1枚 10m以内ごとに1枚 計測時 10m以内ごとに2枚	施工中及び施工後
	防水層貫通部	貫通状況	施工箇所ごとに2枚	防水層施工前及び施工 後

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
配管工事	躯体貫通部	1 スリーブ・インサート及び箱入れ箇所 2 エキスパンション部、防火区画	外壁等防水部ごと及び各階ごとに3枚 施工箇所ごとに1枚	コンクリート打設前の状況 隠ぺい箇所
	試験	水圧試験、満水試験、耐圧試験等の状況	その都度	
保温・塗装及び防錆工事	材料	使用状況	全体 1枚 細部 1枚	材料ごと 規格ごと
	保温	施工状況	保温の種別ごと及び工程ごとに3枚	コンクリート埋設部等は種別に係わらず工程ごと
	塗装	施工状況	塗装の種別ごと及び素地ごしらえから上塗りまで工程ごとに2枚	施工中及び施工後
	防錆	施工状況	防錆の種別ごと及び前処理から防錆処理まで工程ごとに2枚	施工中及び施工後
電気工事		電気設備の表による。	電気設備の表による。	電気設備の表による。
給排水衛生設備工事	器材	使用状況	全体 1枚 細部 1枚	器材ごと 規格ごと
	機器据付け	1 高所等の危険箇所及び水没箇所等 2 アンカーボルトの取付け状況 3 基礎の打設状況 4 レベル調整	施工後各2枚 機器1台ごとに1枚 工程ごと その都度	コンクリート打設前の状況
	衛生陶器の施工	和風大便器のコンクリート内埋込み保護状況	各階便所ごとで種別ごとに1枚	据付け後で穴埋め前
	本管接続等	水道本管分岐状況	撮影角度を変え3枚	埋戻し前
		下水道本管接続状況	撮影角度を変え3枚	埋戻し前
	排水トラップ	床下の配管トラップ	施工箇所ごとに1枚	防露前
	柵類	施工状況	種別ごとで10箇所以内ごとに1箇所を選定しその工程ごと	
	既設管の取合い	分岐等施工状況	撮影角度を変え箇所ごとに3枚	隠ぺい箇所

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考	
ガス設備工事	都市ガス	本管接続等	ガス本管分岐状況	撮影角度を変え 3枚	埋戻し前
		配管	本表の配管工事による。	本表の配管工事による。	本表の配管工事による。
		試験	気密試験及び点火試験	その都度	
	液化石油ガス	材料	本表の配管工事による。	本表の配管工事による。	本表の配管工事による。
		配管	本表の配管工事による。	本表の配管工事による。	本表の配管工事による。
		試験	気密試験及び点火試験	その都度	
ダクト及び附属品工事	材料	使用状況	系統ごとに適宜	隠ぺい部又は保温塗装前 材料ごと 規格ごと	
	工法	各種工法	各種工法ごとで工程ごとに2枚	代表箇所の施工状況	
	ダクトの補強		補強の方法ごと	保温前	
	吊り及び支持	吊り状況、耐震支持状況等	各階ごと、500㎡ごとに4枚		
	躯体貫通部	スリーブ・インサート及び箱入れ箇所	外壁等防水部ごと及び各階ごとに3枚	コンクリート打設前の状況	
	ダクトのシール	多湿箇所のシール施工状況	系統ごとに2枚	施工中及び施工後	
	消音	内張り施工状況	施工箇所ごとに2枚	施工中及び施工後	
	外気取入れガラリ	防虫網等の施工状況	施工箇所ごとに1枚	ある場合で、施工後確認出来ないもの	
	ダンパー類	防火ダンパー等の躯体取付け状況	撮影角度を変え2枚		
空気調和設備工事	器材	使用状況	全体 1枚 細部 1枚	器材ごと 規格ごと	
	機器据付け	1 高所等の危険箇所及び水没箇所等 2 アンカーボルトの取付け状況 3 基礎の打設状況 4 レベル調整	施工後 各2枚 機器 1台ごとに1枚 工程ごと その都度	コンクリート打設前の状況	

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
自動制御設備工事	器材	使用状況	全体 1枚 細部 1枚	器材ごと 規格ごと
	低圧屋内配線に該当する配線	電気設備の表による。	電気設備の表による。	電気設備の表による。
	空気配管	本表の配管工事による。	本表の配管工事による。	本表の配管工事による。
	試験調整	試験調整の状況	その都度	
昇降機設備工事	器材	使用状況	全体 1枚 細部 1枚	器材ごと 規格ごと
	機械室	1 マシンビームの躯体据付け状況 2 機器アンカーボルト埋込み施工状況 3 埋込み配管施工状況	施工箇所ごと 機器 1台ごとに1枚 撮影角度を変え2枚	
	昇降路	1 レール止めアンカーボルト埋込み施工状況 2 ピット部機器アンカーボルト埋込み施工状況 3 レール芯出し施工状況	要所を適宜 要所を適宜 要所を適宜	
	乗場	三方枠取付けアンカーボルト埋込み施工状況	各階 1枚	穴埋め前
	塗装	施工状況	塗装の種別ごと及び素地ごしらえから仕上げ塗り又は研磨・バフ仕上げまでを工程ごとに3枚	
	電気工事	電気設備の表による。	電気設備の表による。	電気設備の表による。

5 焼却炉プラント補修

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
共通事項	補修、整備等で特記のある場合	施行前後、及び施工中の状況	その都度	
	被写体の判別しにくいもの	黒板に撮影年月日、工事件名、工事内容、請負者名等を記入し撮影する。	その都度	
	しゅん功検査時	容易に確認できない箇所は、わかりやすい代表箇所を撮影する。	その都度	
機械分解点検整備	部品	分解後、全ての部品	その都度	
	水圧検査、洩水試験、その他	試験状況	その都度	
	異常箇所	異常な傷、割れ、磨耗等は、拡大写真を整備の前後に撮影する。	その都度	
火格子等	発生材	損傷状況	その都度	
掃除等	代表箇所	施工前、施工後の状況	その都度	
	異常箇所	その部分を拡大して撮影する。	その都度	
発生材	しゅん功検査時に確認できないもの	黒板に撮影年月日、工事件名、請負者名発生材の種類等を記入し撮影する。	その都度	
	消耗、損傷等の理由で、確認の困難なもの	発生状況	その都度	
試験	試験	その状況	その都度	
	基準値の指定がある場合	測定器の読み	その都度	
	複数回測定する場合	炉等の区別を黒板に明記する。	その都度	
その他	監督員が必要と認めた箇所		その都度	

6 港湾工事

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
護岸工	鋼矢板 鋼管矢板 コンクリート矢板	仮設	適時	導材施工状況 ブラケット取付け状況
		異形矢板出来形	その都度	
		タイロッド取付け状況	30本につき1箇所	全数量が確認できる出来形写真も撮る。
		腹起し出来形、形状・寸法	30mにつき1箇所	全延長が確認できる出来形写真も撮る。
岸壁工	鋼矢板 セル ケーソン等	防舷材取付け状況	5箇所につき1箇所	
		ポラード設置状況	1基ごと	アンカー部
		電気防食設置状況	適時	
防波堤工	ケーソン (セルラーを含む)	仮設	適時	足場、底型枠等
		製作状況、出来形	1函ごと	
		進水状況	1函ごと	ケーソン番号付記のこと。
		えい航状況	適時	ケーソン番号付記のこと。
		据付け状況、出来形	適時	ケーソン番号付記のこと、仮置状況を含む。
消波・根固工	方塊 異形ブロック	製作状況	適時	
		製作全数量	適時	番号を記入し数個を1枚の写真に収める。
		形状・寸法	適時	
		運搬、据付け状況	適時	
埋立工	仮護岸工	全断面、形状・寸法	100mにつき1箇所	石わく護岸
	埋立施設工	全断面、形状・寸法	100mにつき1箇所	土留木柵工
	埋立仮施設工	送泥管、架台等の出来形(全景)	適時	
	埋立	土砂採取状況(全景)	適時	
		埋立状況(全景)	適時	

7 測量委託及び地質調査委託

工種	区 分	撮影箇所及び内容	撮影枚数	備 考
地 質 ・ 測 量 調 査	観測用資料	器具をそろえて（ストレーナ、ケーシング等）撮影する。	監督員の指示による。	
	ボーリング孔の深さ	検尺、残尺の状況	その都度	
		地表面との関連を明確にする。		
	各工種	作業中の状況	監督員の指示による。	
作業後の検査状況				